

ご挨拶

本日はご来場いただき、ありがとうございます。

令和最初の月にこの場でライブを開いてから早5年、古希を過ぎて音楽を楽しめているとは夢のようです。

今回、尾西先輩による「レタス」が閉館することになりました。お世話になった感謝を込めて、卒業50周年を記念する単独ライブを企画した次第です。

記憶力、集中力にもいっそうの不都合や衰えが生じておりますが、神戸からギター担いで参加の小池、嘉屋の友人で前回もキーボードを弾いてくれたオリーブ、この二人の協力を得て、精いっぱい歌い、演奏させていただきます。

今後ともよろしく願いいたします。

Taste of Harmony 一同

				
鈴木 康夫 歌、ギター	松下 美子 歌、鳴り物	小石澤 和夫 歌、ギター	嘉屋 由美 歌、鳴り物	菊地 章二 歌、ギター
				
オリーブ キーボード	小池 欽也 エレキベース、 ギター			

Taste of Harmony 卒業50周年&レタス感謝ライブ

令和6年5月11日（土）

多目的交流サロン レタスにて

（KW68尾西氏 2016年開設）

第一部 15:00～15:45

～ 休憩（20分）～

第二部 16:05～17:30

入場料：1,000円



第一部

♪ 1 Cotton Fields

綿畑で綿摘みをする黒人の歌、カントリーの原曲を New Christy Minstrels スタイルで。

♪ 2 時代

1975 年の中島みゆきの名曲。私たちが辛い時を経て時代はまわり、今こうして笑顔で歌っています。

♪ 3 サボテンの花

1975 年チューリップ、1993 年作者財津和夫でヒットした曲。

♪ 4 Omaha Rainbow

ジョン・スチュワート作の故ロバート・ケネディの選挙応援歌。夢を追い求める若者の躍動感を力強く。先輩の曲を後輩 2 世代が継承。

♪ 5 竹田の子守唄

京都府の民謡、赤い鳥が歌って知られるようになった。

♪ 6 中国地方の子守唄

岡山県民謡をもとに山田耕筰が編曲。教科書にも載り広く歌われている。

♪ 7 貝殻節

鳥取県民謡を小池がアレンジ、先輩からも絶賛された私たちの代表曲。

♪ 8 Fiddler's Green

1966 年 John Connolly が「漁師が死後にいくという楽園」の伝説を歌に。ケルトの香り漂う佳曲。

♪ 9 ばあちゃんの子守唄

先輩のオリジナル曲。昔懐かしい風景を思い描いて聞いてください。

休憩 (20 分)

第二部

『T ハモ卒業 50 年の歩み』スライド

KW70 のサイト(2000 年～松下が公開)から私たちの歴史をピックアップしてご紹介。(https://www5b.biglobe.ne.jp/~KW70/index.html)

♪ 10 You've Got a Friend (まつきん)

1971 年キャロル・キングの名曲。松下と小池が作者とジェームズ・テイラーになったつもりで歌ってきました。今回は菊地のジェームズで。

♪ 11 Today

1964 年にニュー・クリスティ・ミンストレルズがリリースした美しい曲

です。今日という今が大切。

♪ 12 ダイナミック琉球

琉球大の歌舞劇用に作られ、現地 CM や創作エイサーに使われて普及、甲子園の応援歌として全国に知られることとなった。

♪ 13 Try To Remember

ミュージカル「ファンタスティックス」より、邦題は『思い出の 9 月』。ブラザーズ・フォアのように美しく歌えますやら。

♪ 14 夢で逢えたら

1974 年 故大瀧詠一作、76 年吉田美奈子が歌ったお洒落な愛の歌。

♪ 15 Because

1964 年 Dave Clark5(英国)による美しい旋律とハモのヒット曲。

♪ 16 ひとりぼっちの雨の唄

慶応の先輩、モダンフォークフェローズの曲。2003 年ヤクルトホールでの KW コンサートでも歌いました。

♪ 17 Where Are You Going With The Rain (雨)

ジョン・スチュワートから KW に贈られたという曲。嘘と欺瞞のこの世が壊れぬうちに、洗い流す雨と真実の心と共に私は行く。

♪ 18 空に星があるように

1966 年荒木一郎のヒット曲、誰もが覚えのある青春の淡い思い出を季節感ある歌詞で。

♪ 19 Hard Times, Come Again No More

あのフォスターが 1854 年に発表。「厳しき時代よ、もう二度と来ないで」と歌い上げます。

♪ 20 Follow The Drinking Gourd

南北戦争の頃、義足のジョーに連れられた南の奴隷たちが自由な北を目指す。夜の闇に紛れ、北斗七星を頼りに一歩一歩と。

挨拶

♪ 21 A Place In The Sun

学生時代から 1 番多く歌った曲。スティービー・ワンダーの名曲を先輩の素晴らしい編曲で。思い出や思い入れで涙が出そう。

最後にお客様とメンバーで記念撮影です。

本日はありがとうございました。

お帰りの際にお土産をお持ち下さい。